

日本語学会第 159 回大会 プログラム

会 長	田窪 行則
大会運営委員長	山越 康裕
大会実行委員長	今仁 生美

期 日：2019年11月16日（土）・17日（日）

会 場：名古屋学院大学名古屋キャンパスしろとり（〒456-8612 名古屋市熱田区熱田西町 1-25）

電 話：052-678-4089

E-mail：imani_ikumi@yahoo.co.jp

※駐車場はありませんので、自動車でのご来場はご遠慮下さい。
※キャンパス内は指定場所以外禁煙です。

— 第1日（11月16日） —

10:00–12:30	評議員会（評議員の方はご出席下さい。詳細は別便の案内をご参照下さい。）	翼館 401 会議室
12:00–17:10	受付	曙館 1 階ホール
13:00–17:40	口頭発表（詳細は2–3頁にあります。）	曙館 3 階～5 階
18:00–20:00	会員懇親会	曙館 1 階レストラン

— 第2日（11月17日） —

9:30–13:00	受付	曙館 1 階ホール
10:00–12:00	ワークショップ（詳細は4頁にあります。）	曙館 1 階～2 階
11:30–12:50	ポスター発表（詳細は4頁にあります。）	翼館 1 階ホール
13:00–13:20	会長挨拶，開催校挨拶（名古屋学院大学外国語学部長 柳 善和），日本語学会学会賞授賞式	翼館 4 階 クラインホール
13:20–16:20	公開シンポジウム 「AIによって揺さぶられる言語理論 —意味論の観点から—」 <司会・趣旨説明> 今仁生美（名古屋学院大学） <登壇者> 中島秀之（札幌市立大学）「『AIは生活していない』の意味について」 松尾 豊（東京大学）「深層学習で意味の深みへ」 鍋島弘治朗（関西大学）「ここから見た意味論—シミュレーション理論とフレーム意味論とメトロン君—」 窪田悠介（国立国語研究所）「理論言語学に未来はあるか？」	翼館 4 階 クラインホール

シンポジウムはどなたでもご参加いただけます。

■口頭発表（11月16日(土) 13:00-17:40)

	A会場（曙館 302） 司会：[1-2] 吉田 和彦, [3-4] 金 善美, [5-7] 風間 伸次郎	B会場（曙館 303） 司会：[1-2] 堀 博文, [3-4] 下地 理則, [5-7] 木部 暢子
13:00-13:30	[A-1] 小林 正人 ドラヴィダ語族クルフ語・マルト語の不定詞の史的再建	[B-1] 平野 綾香 ベトナムランソン省チャンディン県ヌン語の母音体系
13:40-14:10	[A-2] 張 倩倩 サンスクリット文献『シャタパタ・ブラーフマナ』における非従属節化	[B-2] 通山 絵美 ベトナム語南部方言の形成過程における発芽音の音韻化の役割—クアンナム方言の事例より—
14:20-14:50	[A-3] 黄 秀智 外来語定着過程の日韓比較—「ケース」「カード」を事例として—	[B-3] 佐々木 冠 千葉県南房総市三芳方言の形容詞語形変化
15:00-15:30	[A-4] 橋本 大樹 日本語における語の情報量と持続時間の関係	[B-4] 黒木 邦彦 ふぞろいの単語たち：上甕島瀬上方言の語形を左右する3種類の処理単位
15:30-15:50	(休憩)	(休憩)
15:50-16:20	[A-5] 脇坂 美和子 滋賀県湖北方言の -tar-u 形式の有生性とアスペクト	[B-5] 王 丹凝 南琉球宮古島旧城辺町新城方言における二重主語文と所有傾斜
16:30-17:00	[A-6] 桑本 裕二 鳥取県中部および東部方言における平板型アクセントの音調配列の分布と変化	[B-6] 白田 理人 北琉球奄美喜界島小野津方言の疑問文末標識と言語行為—話し手の行為遂行に関する疑問文を中心に—
17:10-17:40	[A-7] 孫 爽 日本語否定疑問文のイントネーション	[B-7] 吉本 靖 沖縄語の形態格：依存格理論による分析

	C会場（曙館 304） 司会：[1-2] 中村 渉, [3-4] 林 範彦, [5-7] 児倉 徳和	D会場（曙館 401） 司会：[1-2] 長谷川 信子, [3-4] 成田 広樹, [5-7] 星 英仁
13:00-13:30	[C-1] 石塚 政行 バスク語の副動詞 V-z の従属関係	[D-1] 大塚 知昇 左周辺部と外在化
13:40-14:10	[C-2] 熊切 拓 アラビア語チュニス方言の起動動詞が存在を表す用法について	[D-2] 伊藤 健太郎 “自分”の指示決定における「視点」の役割とその統語的分析
14:20-14:50	[C-3] 倉部 慶太 ジンポー語の変化相と限界性	[D-3] 下村 郁佳, 星 英仁 日本語の動詞句イディオムにおける省略現象について
15:00-15:30	[C-4] 野島 本泰 ブスン語嚙社方言の疑問詞末尾に生じる q	[D-4] 内芝 慎也 主語句からの摘出における DP と PP との非対称性：ボトムアップ式の統語計算に基づくアプローチ
15:30-15:50	(休憩)	(休憩)
15:50-16:20	[C-5] 佐藤 暢治 保安語積石山方言の「生まれる」と「産む」を表す表現	[D-5] 中野 晃希 日本語の主格目的語に見られる作用域の不一致に関する一考察
16:30-17:00	[C-6] 菱山 湧人 タタール語における代名詞化した限定詞との一致について	[D-6] 後藤 雄介 ロシア語における数詞句と格付与について
17:10-17:40	[C-7] Chihiro TAGUCHI Vowel harmonies in Kazan Tatar: Element theoretical analysis	[D-7] 上山 あゆみ, 林下 淳一 間接受身文の単文構造分析

	E会場 (曙館 402) 司会：[1-2] 宮本 陽一, [3-4] 小野 創, [5-7] 伊藤 たかね	F会場 (曙館 502) 司会：[1-2] 尾谷 昌則, [3-4] 小磯 花絵, [5-7] 伊藤 さとみ
13:00-13:30	[E-1] Yu-Han XIE, Hideki MAKI On the distribution of genitive subject in Kazakh	[F-1] 杉浦 滋子 日本語の「場所格交替」の全体効果はどのように生じるか
13:40-14:10	[E-2] 野地 美幸, 中島 基樹 日本人英語学習者による why・what 疑問文の倒置の習得: 短距離・長距離 wh 移動の違いに焦点を当てて	[F-2] 松浦 幸祐 格助詞が果たす接続関係の意味への貢献に関する構文文法的考察—P トキ Q 構文/P トキニ Q 構文に見られる意味の差に着目して—
14:20-14:50	[E-3] 祐伯 敦史 日本語の尊敬表現の理解における Similarity-based Interference	[F-3] 冀 媛媛, 玉岡 賀津雄, 布目 孝子, マイケル・P・マンスブリッジ プロンディによる「誰にも」の否定・肯定極性判断
15:00-15:30	[E-4] 山田 祐也, 堀江 薫 「-テイル」の諸機能の構造と機能間の曖昧性に対する定量的検証-第二言語習得研究への応用を目指して-	[F-4] 長谷部 郁子, 神谷 昇 弱い否定極性項目としての「NらしいN」表現
15:30-15:50	(休憩)	(休憩)
15:50-16:20	[E-5] 加藤 杏奈, 小野 創, 郷路 拓也 日本語母語話者と学習者による新奇動詞の活用形選択～動詞タイプとインプットの影響～	[F-5] 矢田部 修一 対称性副詞句の内部読み
16:30-17:00	[E-6] 謝 尚琳, 木山 幸子, 小泉 政利 言語間で共有される統語処理: 日本語と中国語の2言語併用者の文理解の検証	[F-6] 川北 麻由 現代日本語における「トイウカ」のメタ言語用法
17:10-17:40	[E-7] 熊 可欣, 新国 佳祐, 宋 凌峰, 卓 雅, 邑本 俊亮, 木山 幸子 言語間字体類似度が2言語併用者の語彙アクセスを妨げる: 中日同根語の視線計測による検討	[F-7] 山田 彬亮, 窪田 悠介 「曖昧」な潜在意味概念の分析にむけて: ノ・コトの間のバリエーションについての統計的アプローチ

	G会場 (曙館 503) 司会：[1-2] 宮地 朝子, [3-4] 上山 あゆみ, [5-7] 藏藤 健雄
13:00-13:30	[G-1] 金谷 由美子 当為的 (deontic) モダリティ形式としてのVテオク
13:40-14:10	[G-2] 高橋 英也, 江村 健介 V-e-te-i-ru 形式のアスペクト解釈について
14:20-14:50	[G-3] 橋本 将 日本語の代名詞-名詞表現と連想複数
15:00-15:30	[G-4] 工藤 和也 日本語不確定代名詞重複表現の分布について
15:30-15:50	(休憩)
15:50-16:20	[G-5] Sumiyo NISHIGUCHI De Re indexicals in Rendille
16:30-17:00	[G-6] Asako MATSUDA The internal structure of the bound we
17:10-17:40	[G-7] Hisashi MORITA, Gillian RAMCHAND Shifty indexicals and logophors in Japanese

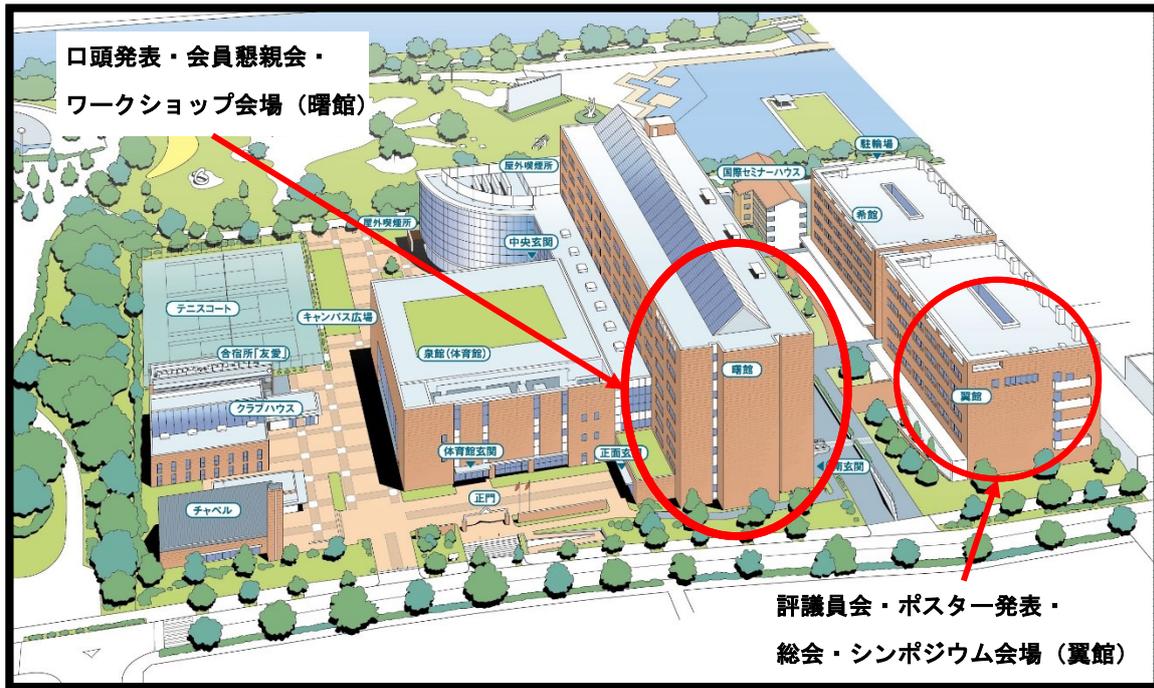
■ワークショップ (11月17日(日) 10:00-12:00)

曙館 101	[W-1] 鹿児島県甕島方言の音声と文法 企画者・司会者: 窪園 晴夫 コメンテーター: 木部 暢子
	[W-1-1] 甕島方言のアクセント 窪園 晴夫
	[W-1-2] 甕島方言のニ格・バ格標示の形容詞 久保園 愛
	[W-1-3] 九州方言における甕島方言の敬語運用 酒井 雅史
曙館 102	[W-2] 発達障害の言語の問題をカートグラフィーで捉える 企画者: 遠藤 喜雄, 幕内 充 司会者: 遠藤 喜雄
	[W-2-1] 自閉症の言語障害 幕内 充
	[W-2-2] The cartography of syntactic structures: Results and implications for cognitive studies Luigi RIZZI
	[W-2-3] 発達障害のカートグラフィー 遠藤 喜雄
	[W-2-4] 発達障害の音韻的特性 那須川 訓也
曙館 103	[W-3] シネクドキの世界: カテゴリー化の言語学 企画者: 田中 太一 司会者: 西村 義樹 コメンテーター: 西村 義樹, 山泉 実
	[W-3-1] 提喩とカテゴリー化: 提喩能力をめぐって 田中 太一
	[W-3-2] 自己比喩とカテゴリー化: 「にすぎる」と「にすぎない」の否定的評価 佐藤 らな
	[W-3-3] 提喩, 隠喩, 事象構造: 日本手話の使役の記述を通して 松田 俊介
	[W-3-4] 全体と部分, グループとメンバー, 類と種: チェコ語の HAVE, BELONG, BE の記述を通して 浅岡 健志朗
曙館 201	[W-4] 構文形態論の新地平: 複合語・繰り返し・「語」の境界 企画者・司会者・コメンテーター: 長屋 尚典
	[W-4-1] 広島方言における2つの「よう+否定」構文の構文形態論的分析 茂木 洸太朗, 高城 隆一
	[W-4-2] 英語複合語 N-s-man の構文形態論的分析 一属性叙述と spokesman 島田 翔平
	[W-4-3] 指定コピュラ文の意味構造をもつ NN 複合語の構文スキーマ: 外国人相手のビジネス, 体目当ての男, 野菜メインの食事 氏家 啓吾
	[W-4-4] トルコ語の反復と重複: 形態論と統語論の境界を考える 鈴木 唯

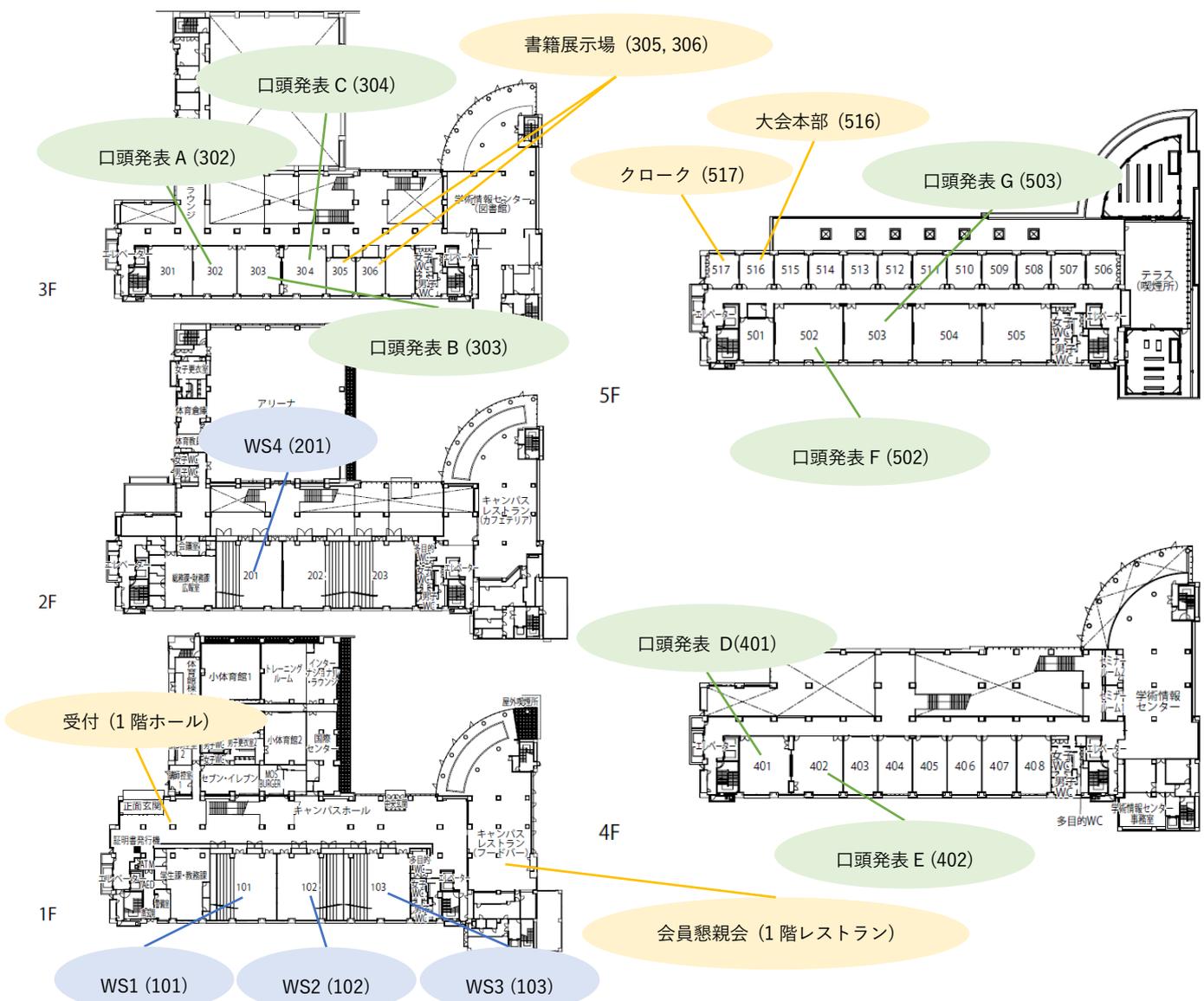
■ポスター発表 (11月17日(日) 11:30-12:50)

翼館 1階ホール	[P-1] 小林 由紀, 杉岡 洋子, 伊藤 たかね 日本語新規動詞の活用 一音便の有無および語幹末子音による比較一
	[P-2] 小田 希望 呼びかけ語 title of respect のコミュニケーション機能: humour を用いたポライトネス
	[P-3] 岡田 理恵子, 倉橋 農 神経科学的手法を用いた第二言語音素獲得メカニズムの解明
	[P-4] 新田 哲夫 南琉球多良間方言のアクセントの弁別特徴と名詞句のアクセント
	[P-5] 野元 裕樹 代名詞代用語の意味論

◆名古屋学院大学名古屋キャンパスしろとり 建物配置図



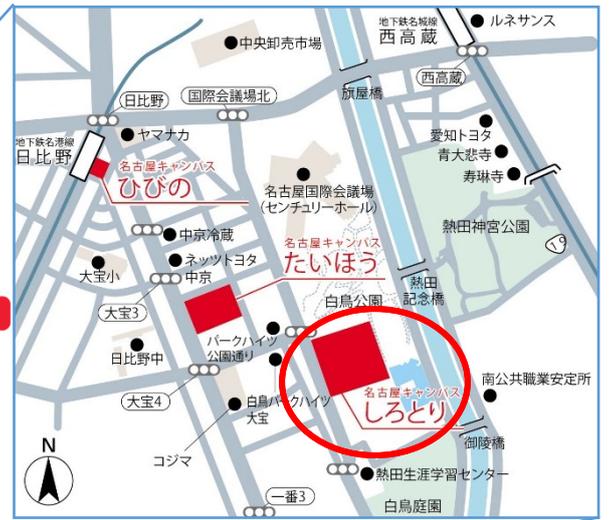
◆会場配置図（曙館）



※WS = ワークショップ

大会会場（名古屋学院大学名古屋キャンパスしろとり）へのアクセス

★路線図・キャンパス周辺図



★各駅からの所要時間

大垣	JR東海道本線	岐阜	JR東海道本線	名古屋	JR東海道本線/ JR中央本線	名古屋キャンパス
	12分		27分		04分	日比野
多治見	JR中央本線	春日井	JR中央本線			西高蔵
	20分		18分			名古屋キャンパス
豊橋	JR東海道本線/名鉄名古屋本線					神宮西
	48分					
豊田市	名鉄豊田線	赤池	名古屋市営地下鉄 鶴舞線	上前津	名古屋市営地下鉄 名城線	
	12分		27分		04分	
犬山	名鉄犬山線					
	40分					
常滑	名鉄常滑線	太田川	名鉄常滑線			
	20分		18分			
新瀬戸	名鉄瀬戸線	大曾根	名古屋市営地下鉄 名城線	栄	名古屋市営地下鉄 名城線	
	22分		12分		06分	
津	伊勢鉄道	四日市	JR関西本線	名古屋	JR東海道本線/ JR中央本線	
	42分		50分		04分	

お知らせ

- ◆大会会場でのインターネットの利用について
第159回大会会場では docomo 他 の公衆無線サービス（サービスに加入している場合）のほか、名古屋学院大学による free wifi が大会期間中のみ利用可能です（NGU free；パスワード不要）。ただしアクセスの集中による障害発生を避けるため、予稿集は必ず事前にダウンロードしてお越しください。
- ◆大会参加費と予稿集
大会参加者は大会受付にて参加費（一般会員 2,000 円、学生会員 1,000 円、一般非会員 3,000 円、学生非会員 2,000 円）をお支払いの上、名札をお受け取り下さい。予稿集は大会の 1 週間前より学会ホームページから電子版予稿集（PDF ファイル）がダウンロードできるようになりますので、事前にダウンロードを済ませてから会場にお越し下さい。紙媒体での予稿集頒布は行っておりませんのでご注意ください。
- ◆出張依頼状
所属機関長宛の出張依頼状をご入用の方は、返送先を明記して切手を貼った返信用封筒を同封の上、11月1日（金）（必着）までに学会事務支局までお申し込み下さい。
- ◆大会期間の昼食について
大学内の食堂は、土曜・日曜ともに営業していません。キャンパス周辺には飲食店がありませんので、各自昼食はご準備下さい。
- ◆会員懇親会の申し込み
会員懇親会へ参加ご希望の方は、大会当日に受付でお申し込み下さい。会費は、一般 5,000 円、学生 3,000 円を予定しています。
- ◆保育室の設置
保育室を設置します。保育室の利用を希望される方は、学会ホームページ「保育室の設置について」をお読みになった上で、2019年10月25日（金）までに保育室担当宛（lsj.childcare@gmail.com）に御連絡下さい。
 - ・利用可能時間：11月16日（土）12:45-18:00、11月17日（日）9:50-16:50
 - ・料金：お子様1人あたり1時間につき500円
- ◆手話通訳などについて
手話通訳、ノート・テイクなどをご利用希望の方は、学会ホームページの大会案内をご覧ください。受付締切は10月11日（金）です。
- ◆書籍展示
書籍展示は、曙館3階305,306号室で行う予定です。
- ◆大会予稿集、『言語研究』のバックナンバー
『言語研究』バックナンバー余剰分の無料頒布を前回大会まで行なっておりましたが、前回大会をもって終了いたしました。大会予稿集および『言語研究』のバックナンバーは引き続き郵送での注文を受け付けております。購入をご希望の方は、在庫状況を学会ホームページでご確認の上、学会事務支局までお申し込み下さい。
- ◆クロークの設置
クロークを設置します。曙館5階517号室です。
- ◆資料展示コーナー
会員相互の情報交換のための資料展示スペースを用意します。会員に紹介したい学会、研究会、講演会のパンフレット等を置くことができますのでご利用下さい。（配布物は当日受付にご持参下さい。）

事務局からのお知らせ

日本言語学会では、2019年度より、言語学の研究・教育および学会運営にあたって依拠すべき倫理上の基本原則と理念を「日本言語学会倫理綱領」（以後「倫理綱領」）として定めました。制定に至った背景の1つに、2018年8月に開催された「夏期講座2018」で発生したハラスメント事件があります。学会として、このような事態を二度と起こしてはならないという強い決意のもと、倫理綱領制定のための部会で原案を作成し、常任委員会、そして評議員会で議論の上、制定した次第です。倫理綱領は研究大会を含む学会活動すべてに関わるものです。日本言語学会の会員であるかどうかに関わらず、倫理綱領を遵守していただくことが本大会参加の条件となることを認識いただいた上で、大会に参加いただきますよう、よろしくお願い致します。

倫理綱領の内容については、日本言語学会ウェブサイトを確認してください。

<http://www.ls-japan.org/modules/documents/rules/15.pdf>



次回大会予告（2020年春季大会：第160回大会）

場 所：早稲田大学早稲田キャンパス

（〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1）

日 程：2020年6月20日（土）・21日（日）

公開シンポジウム、口頭発表、ワークショップ、ポスター発表

研究発表募集：学会ホームページから発表申し込みができます。

・発表応募締め切り 2020年3月20日（金）（必着）

・採否通知 2020年4月中旬

* 宿泊施設の混雑が予想されます。宿泊を必要とされる方は早めの予約をお薦めします。

問い合わせ先

日本言語学会事務支局 〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入

Tel. (075) 415-3661, Fax. (075) 415-3662, E-mail: lsj@nacos.com